

株主のみなさまへ

第69期 株主通信

2021年2月1日～2022年1月31日



for/c

株主のみなさまへ

消費者一人ひとりの生活を豊かにデザインしていく
ウェルビーイングの実現を目指します。



代表取締役社長

山本 大寛

■ 仕入原価の上昇により、売上総利益率が低下

当期のアパレル業界は、商業施設や実店舗の来店客数はコロナ禍以前の水準には戻らず、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、基幹事業であるアパレル卸売の強化に向け、衣料品販売の深化と非衣料品販売の拡大に取り組んでまいりました。衣料品においては、新しいライフスタイルに合わせた商品開発を進めるとともに、企画や生産管理にデジタルを活用し、アパレル卸売の創る力を強化しました。非衣料品においては、ファッションマスク等の販路拡大や、新規商品開発を進めました。

売上高は、アパレル小売において店舗販売に回復がみられたものの、アパレル卸売において海外生産国での生産遅延や海上輸送の遅れに伴い、秋冬物の短納期生産の販売が減少しました。また、ファッションマスク等の非衣料品販売は、政府や自治体からの不織布マスクの推奨の影響を受けて想定を大きく下回りました。

利益面では、上記売上高の減収要因のほか、原材料費の高騰や海上運賃の値上げ、アセアンから中国へ生産国を変更したことにより仕入原価が上昇し、売上総利益率は低下しました。加えて、非衣料品の在庫評価をしたことにより、売上総利益は114億42百万円（前

期比25.3%減)となりました。経費面では、広告宣伝費等の販売費が増加したものの、固定費を削減したこと等により、販売費及び一般管理費は130億3百万円(前期比1.3%減)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、591億20百万円(前期比7.6%減)、営業損失は、15億60百万円(前期は21億48百万円の営業利益)、経常損失は、12億96百万円(前期は25億30百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純損失は、子会社において事務所移転費用を94百万円計上したこと、及び法人税等調整額を2億48百万円計上したこと等により、16億66百万円(前期は20億1百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

当期の期末配当金は1株当たり9円とし、年間配当金は、15円の間配当金と合わせて、前期同様の24円といたしました。

■ 中期経営計画の策定

今後の見通しにつきましては、当社グループでは、市場動向や事業環境の変化に伴い、2023年1月期を初年度とする中期経営計画を策定いたしました。

中期経営計画では、衣・食・住の商品やサービスを通じて、若者からシニアまであらゆる世代が、元気に活躍し、豊かに暮らすことができる人生100年時代の豊かなライフスタイルを創造する企業を目指します。

アパレル事業では、消費者のライフスタイルの変化を捉え、企画の視点を外出シーンから生活シーン別の提案に変更していきます。また、ニューノーマルで定着したアウトドアやイエナカ需要の取り込みも行い、アパレル事業の深化と利益の追求に努めてまいります。非アパレル事業では、健康・悩み解決・楽しみのカテゴリーでの生活雑貨の開発を強化していきます。また、ライフスタイル領域での新たな商品やサービスの創出に努めてまいります。これらにより、消費者一人ひとりの生活を豊かにデザインしていくウェルビーイングを実現できる企業へと進化していきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年に向けた目指すべき企業像

人生100年時代の豊かなライフスタイルの創造

次のページで、詳しくご紹介

中期経営計画2022～2024年度

1 成長戦略

ニューノーマル時代に必要とされる商品のラインアップ拡充を図ります。

アパレル事業の深化

生活様式の変化に合わせたシーン別の提案



シニアマーケットに向けた新ブランド「Do femme (ドゥファム)」



アウトドアシーン向け「sorafuku (ソラフク)」



おうち時間をココロ楽しく、カラダ楽に「LAFUKU (ラフク)」

非アパレル事業の創出

健康、悩み解決、楽しみのカテゴリーで生活雑貨開発の強化



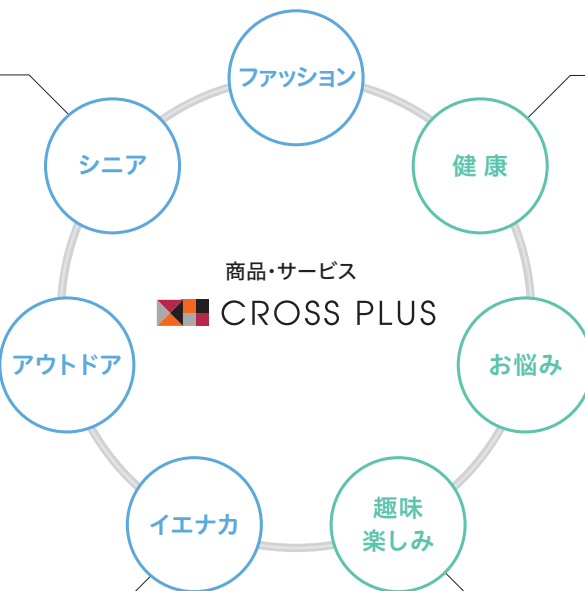
血行促進して疲労回復に導く「HOGUSU (ホグス)」



授乳期の母乳漏れを防ぐ吸水インナー開発



「推し活」向け商品の開発



一人ひとりの生活を豊かにデザインしていく
ウェルビーイングを実現

2 数値目標

2024年度に売上高650億円、営業利益10億円を目指す。

- ・衣料品は、生活シーン別の価値提案企業へと深化
- ・非衣料品は、生活を豊かにするライフスタイルの実現に向けた商品を拡大

3 5つの重点施策

1 ECの推進

- ・顧客マーケティング強化
- ・取扱い品目の拡大とEC販路の拡大

2 商品のNB化※

- ・生活シーン別のトータル提案強化
- ・コア商品、定番商品の比率アップ

3 サプライチェーンの見直し

- ・素材や工場の集約による原価低減
- ・生産国の分散とトレーサビリティの強化

4 ライフスタイル商品の拡大

- ・健康、遊び、生活雑貨の開発
- ・非衣料品店舗への販売強化

5 新規事業の創出

- ・企業や自治体との協業を促進
- ・アパレルの枠を超えた新規事業開発



中期経営計画2022～2024年度

4 非アパレル事業の強化

ライフスタイル商品のご紹介 血行促進ウェア HOGUSU

「HOGUSU（ホグス）」は、着るだけで血行を促し筋肉のコリをほぐすインナーウェアです。天然鉱石を練り込んだチオクリーン®繊維※が温熱効果をもたらし着用部位の血行を促進、疲労回復へと導きます。着心地が良い非圧着タイプで、レディース、メンズで様々なタイプをご用意しています。

※チオクリーン繊維：サブナノ単位にまで粉砕した粒度の天然鉱石をレーヨンに練り込んだ繊維素材です。洗濯を繰り返しても、半永久的に機能を発揮します。

URL <https://hogusu-wear.jp/>



着るだけで、
疲れをほぐす。



PASTEL MASK 新CMにトリンドル玲奈さん起用

「PASTEL MASK（パステルマスク）」は、肌に優しい素材でマスクを外した後も艶やかな素肌を実現できる点を訴求するため、肌が綺麗でイメージにあうトリンドル玲奈さんを起用しました。幅広い年齢層から支持されるトリンドル玲奈さんの強い影響力で、認知拡大を図ります。また、4月下旬より、高密度フィルターを使用した3層構造の「不織布タイプ」とひんやり冷感の「COOLタイプ」の販売も予定しています。

URL <https://pastelmask.net/>



つけても外しても、勝利する。

PASTEL MASK™

初の不織布タイプ






肌側にシルクタッチ生地を使用し、人気のカラー全4色展開が登場



5 サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ委員会を新設

5つの項目を優先的に取り組むテーマに設定し、グループ全体でサステナビリティ活動に取り組めます。

区分	取り組みテーマ	SDGsとの関連
環境	脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮素材の利用促進 利用エネルギーの省エネ化 
	資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 再生原料、残反を利用した服作り 服資材(プラスチック)のリサイクル 
	サプライチェーンの持続可能	<ul style="list-style-type: none"> トレーサビリティの確保 作りすぎないモノづくりの実現 
社会	地域社会との共生	<ul style="list-style-type: none"> 自治体及び地域との共存 療育事業による福祉支援 
人	社員の幸福	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化の推進 働き易い、挑戦し易い環境の整備 

児童発達支援オンラインサービス開始

グループ会社のディスカバリープラスが、児童発達支援スクール“コペルプラス”のオンラインレッスンサービスを開始しました。「近くに教室が無い」「時間の都合が合わない」という声にお応えするため、“コペルプラス”のノウハウを生かした豊富な教材とオンラインならではの楽しいプログラムをご用意しています。

※本サービスは、通所受給者証を使った児童福祉事業ではありません。利用料金は、ご家庭の負担となります。



URL <https://copelplus.copel.co.jp/online>

サステナブルブランド for/cデビュー

初のサステナブルブランド「for/c (フォーシー)」がデビューしました。

ペットボトルや端切れを原料として再利用したアウターやオーガニックコットンのTシャツなど約80種類の商品を、ECサイト「楽天市場」専用ブランドとして販売しています。襟のタグや下げ札を省きゴミの削減につながり、発送には、適切に管理された森林の認証制度「FSC認証」を取得した段ボールを使用しています。

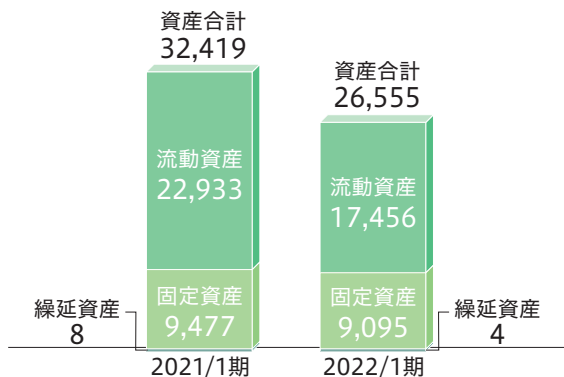


URL <https://www.rakuten.ne.jp/gold/forc-wear/>

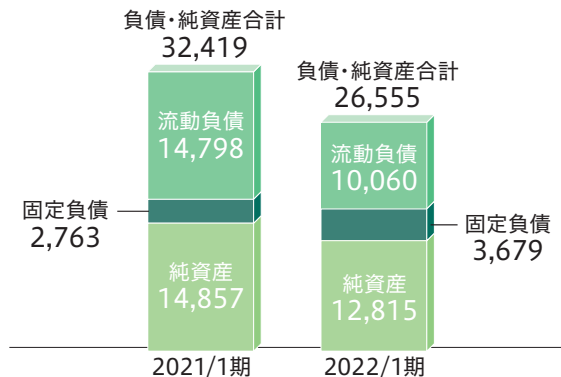
クロスプラスの連結財務データ

連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

資産の部



負債・純資産の部



Point : 流動資産

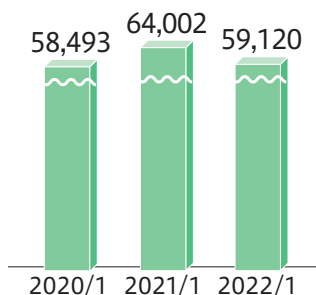
商品が27億3百万円減少し、受取手形及び売掛金が26億22百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ54億77百万円減少の174億56百万円となりました。

Point : 流動負債

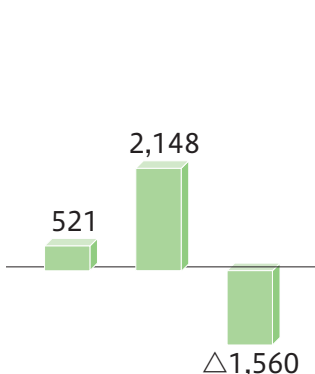
短期借入金が23億円減少し、電子記録債務が11億13百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ47億38百万円減少の100億60百万円となりました。

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

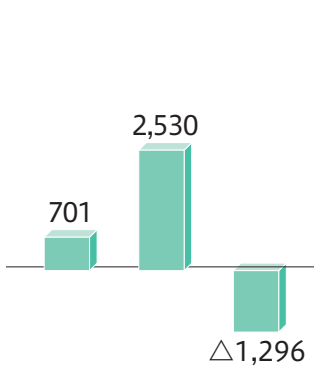
売上高



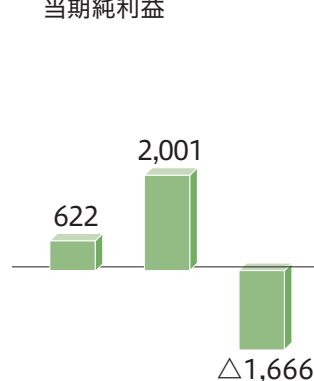
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益

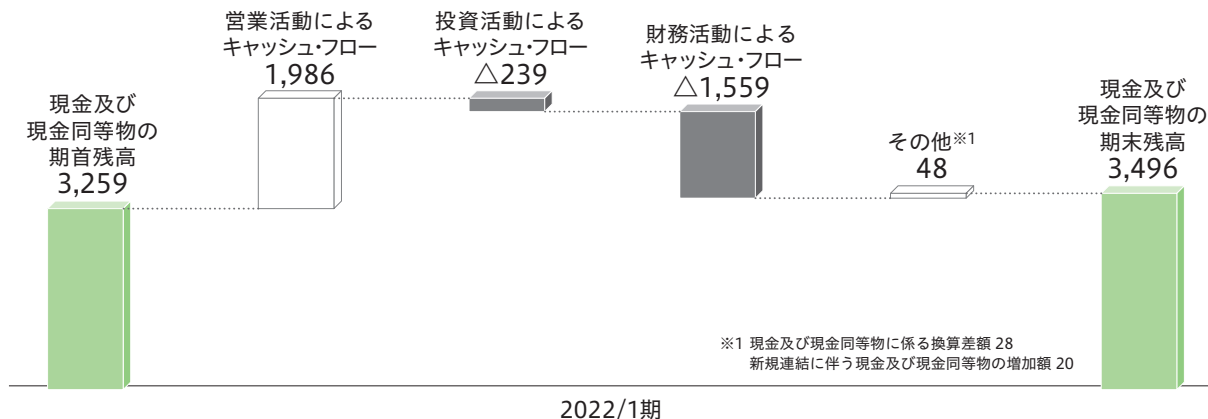


2020/1 2021/1 2022/1

2020/1 2021/1 2022/1

2020/1 2021/1 2022/1

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)

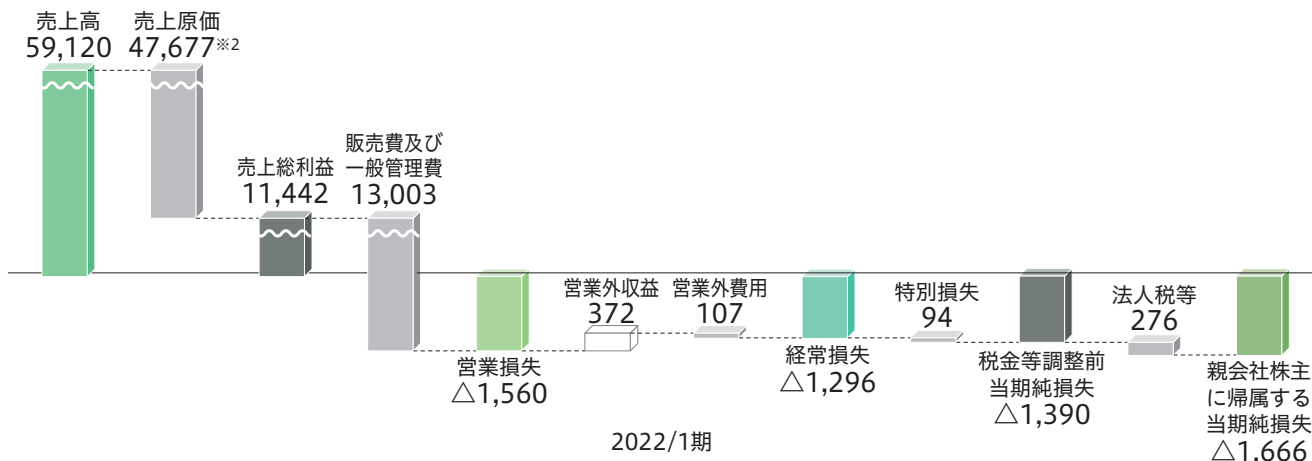


Point : 営業活動によるキャッシュ・フロー

19億86百万円の収入（前期は33億99百万円の支出）となりました。これは、仕入債務の減少が16億31百万円、税金等調整前当期純損失が13億90百万円となったものの、売上債権の減少が32億17百万円、たな卸資産の減少が26億87百万円となったこと等によります。

Point : 損益分析

非衣料品の販売減少、原材料費の高騰や海上運賃の値上げ、アセアンから中国へ生産国を変更したことによる仕入原価の上昇及び非衣料品を在庫評価したことにより、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。



※2 返品調整引当金戻入・繰入額を加味した数値です。

会社概要

事業内容 衣料品、服飾雑貨全般の企画製造、専門店・店舗・EC等への卸売及び百貨店等での小売

創業 1951年8月

設立 1953年4月

資本金 1,944百万円

代表者 代表取締役社長 山本 大寛

従業員数 697名 (連結)、576名 (単体)

事業所 本社：名古屋市西区花の木3-9-13
東京店：東京都中央区日本橋浜町3-3-2
物流センター：中部、CP流通

グループ会社 (株) サードオフィス
(株) 中初
(株) スタイルプラス
(株) ディスカバリープラス
客楽思普勒斯 (上海) 服飾整理有限公司

役員 (2022年4月22日現在)

代表取締役社長	山本 大寛
常務取締役	西垣 正孝
常務取締役	西尾 祐己
常務取締役	大口 浩和
取締役	白木 規博
社外取締役	二見 英二
社外取締役	岩井 恒彦
常勤監査役	丸尾 裕之
監査役	曾我 孝行
社外監査役	松永 安彦
社外監査役	豊田 稔
執行役員	磯貝 啓司
執行役員	内藤 正徳
執行役員	中村 直哉
執行役員	熊澤 真人
執行役員	福井 谷政志
執行役員	清水 敬郎
執行役員	大久保 武

株式の状況

発行可能株式総数 31,600,000株

株主数 13,614名

発行済株式の総数 7,718,800株

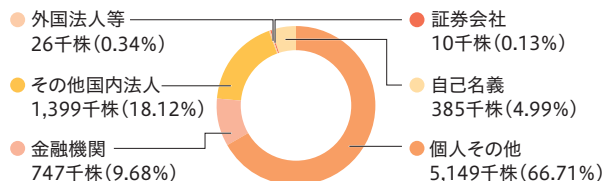
単元株主数 12,807名

大株主 (上位10名)

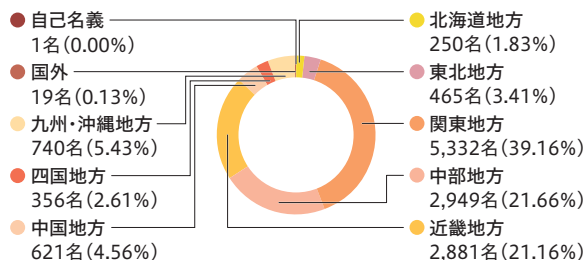
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
辻村 隆幸	600	8.18
田村駒株式会社	323	4.40
クロスプラス社員持株会	246	3.36
株式会社ヤギ	246	3.35
森 文夫	228	3.11
笠原 朗	175	2.39
株式会社三菱UFJ銀行	166	2.26
有限会社シーピーモアー	160	2.18
株式会社みずほ銀行	134	1.83
森 重文	122	1.66

(注) 持株比率については、自己名義株式385千株を控除して算出しております。

所有者別分布状況



地域別分布状況



株主優待制度のご案内

毎年1月31日(決算期)現在の株主名簿に記載された100株(1単元)以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインストアのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制	
	当社グループ選定商品の場合	クーポン券の場合
100株以上 500株未満	小売価格 3,000円相当	3,000円
500株以上 1,000株未満	小売価格 5,000円相当	5,000円
1,000株以上	小売価格 10,000円相当	10,000円



特別優待

左記の他に、抽選で株主様に30万円の旅行券を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

抽選の対象となる株主様

①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様 ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有(期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載)の株主様

当選数

①の株主様の中から10名様 ②の株主様の中から2名様(ただし、①と重複当選の場合は無効といたします)

株主メモ

事業年度 毎年2月1日から翌年1月31日まで

基準日 定時株主総会 1月31日

期末配当金 1月31日

中間配当金 7月31日

そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年4月に開催

公告方法 電子公告
(<https://www.crossplus.co.jp/>)

ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場
名古屋証券取引所メイン市場

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基

づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

N.O.R.C



CROSS PLUS

UD
FONT
by MORISAWA

見やすく読みま
ちがえにくいユニ
バーサルデザイ
ンフォントを採用
しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915